

「尚徳」 3月号 第570号 令和2年3月23日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>



題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)

第73回 卒業証書授与式



第73回 鳥取大学附属小学校 卒業生

～ 学校長式辞 ～

春の日差しが心地よい季節となりました。先日、高学年玄関前の立派な松の木に、冬の間太い幹に巻きつけてあった「こも巻き」が外され、冬の終わりを感じることができました。卒業生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

6年生のみなさんにとっては、この一年間、最高学年としてさまざまな行事で忙しくも、充実した毎日を送って貰えたと思います。年明けからは、いよいよ卒業に向けての準備も進んでいました。残念なことに卒業式までの3週間ほどは、新型コロナ・ウイルス対策で休校の措置が取られたため、友達との最後の思い出づくりの時間が失われてしまいました。大変申し訳なく思うとともに、私たち、教職員もとても残念でした。

とはいえ、みなさんは本校入学以来、本当にたくさんの友達や先生方との交わりの中で、いろいろなことを経験し学んできたと思います。一つ一つを思い返してもらおうと、それはみなさんが一緒に過ごした、キラキラと輝いた素敵な思い出として蘇ると思います。ここで、卒業生のみなさん、ちょっと思い出してみてください。6年前、初めてランドセルを背負って登校した日のこと、国語で漢字を習ったり、算数で計算の仕方を教えてもらったり、音楽の時間にみんなで歌を歌ったり、楽しみながら勉強を始めました。その頃のみなさんは、いまと比べると一人ではできないことがたくさんあって、先生方やお家の方に助けてもらいながら、毎日を送ってきたと思います。

今はどうでしょう？いろいろな知識が増えただけでなく、身体もずいぶん大きくなり、力いっぱい走ったり、泳いだり、できることが格段に増えたと思います。これを「成長」というわけですが、この成長を考えると、これから話す2つのことも、みな

さんには考えてほしいと思います。

ひとつ目は、『成長は学力や体力だけではない』ということです。つまり、生まれたばかりの赤ちゃんは、まだ言葉を話すことができないので、自分の思いを泣いたり笑ったりすることでしか伝えられません。あるいは、小さな子供がスーパーなどで欲しい物を買ってもらえず、大声で泣いている場面に出会ったこともあると思います。しかし、みなさんはすでに自分の思いや考えを伝える方法を知っていて、相手に話したり手紙に書いたりして伝えることができます。これからはそうした自分の考えを主張するだけでなく、いろいろな人の幅広い意見にも耳を傾け、自分の考え方との違いに気付いたり、相手の立場にも立って思いやりや、考えたりする力も身に付け、心を大きく成長させて欲しいと思います。見た目がカッコイイ人も素敵ですが、心の大きな人もなかなか素敵なのです。


そして、もうひとつは、『何の努力もせずに、期待する成長はできない』ということです。植物は太陽の光と適度な水があれば成長することができますが、美味しく栄養のある野菜を育てようと思えば、多くの人の手が必要になります。これまでの12年間、みなさんは知らず知らずのうちに、日々いろいろな努力を積み重ねてきました。努力とも思わず、当たり前のこととして行ってきたことであっても、すべての経験がみなさんの成長に結び付いてきました。またいろいろなことに苦労したり、悩んだりする経験も、場合によってはみなさんの成長に役立つこともあります。自分では乗り越えられそうもない困難に直面したときには、遠慮なく大人の助けを借りられたら良いと思いますが、少し心に余裕があるときには、そうした苦労にも立ち向かってみて下さい。今までにない達成感を味わうことができると思いますし、そうした経験はみなさんを大きく成長させてくれることでしょう。そうした経験を自信に変えて、これからも大きな夢をもってチャレンジし続けることができる人になってほしいと思います。133年の歴史ある附属小学校の卒業生であることをいつまでも忘れずに、将来の目標に向かって力強く、大きく羽ばたいてくれることを期待しています。ちなみに、みなさんがこれから大学を卒業するまで、あと10年。私が鳥取大学を定年退職するまで、あと10年あります。みなさんのなかから鳥取大学に入学し、地域学部で学んでくれる人が現れるのを、私は楽しみにしています。

保護者の皆様、改めましてお子様のご卒業、おめでとうございました。小学校6年間の子育てを楽しんでいただけましたでしょうか？運動会、授業参観、クリーン活動、親子で参加していただく機会が年に数回はあったと思います。そのたびに、普段家庭で見ているわが子とは違う、成長した姿を確認していただけたのではないのでしょうか。思春期を迎える子供たちとは、次第に親子の関わり方に変化が生じます。中学3年生の娘をもつ私も、父親の役割の変化に寂しさを感じながら日々過ごしています。とはいえ、やはり子供の成長は親にとっての大きな楽しみです。これからは子供との距離感を上手に図りながら、温かく見守っていただけたらと思います。最後になりますが、これまで本校の教育・研究に一方ならぬご協力、ご支援を頂戴しましたこと、ありがとうございました。改めて御礼を申し上げるとともに、今後も附属小学校を応援していただけますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。本日は、まことにおめでとうございました。

令和2年3月17日 鳥取大学附属小学校 校長 山下博樹



行事予定

4月の行事予定	来年度の主な行事予定
7日(火) 着任式・始業式 2~6年 弁当の日	夏休み：7月18日(土)～8月24日(月)
8日(水) 入学式 2~6年 弁当の日 職員会議	運動会：9月12日(土)
9日(木) 1年3校時下校 2~6年 給食開始	秋休み：10月3日(土)～10月6日(火)
10日(金) 1年 弁当の日	研究発表大会：10月31日(土)
14日(火) 5校時下校 路線別児童会	冬休み：12月24日(木)～1月6日(水)
15日(水) 委員会 職員会議	実りの学校：2月6日(土)
16日(木) 身体測定	卒業証書授与式：3月17日(水)
23日(木) 学習参観日・学年懇談 懇話会総会 弁当の日	修了式：3月24日(水)
29日(水) 昭和の日	※新型コロナウイルス感染症対応のため予定が変更される こともあることをご了解ください。
30日(木) 砂の学校 弁当の日	

卒業式の様子



卒業生担任を先頭に 62 名の入場で始まりました。



当日、証書受取りの動きを担当から聞き、練習もせず、式に臨みました。これまでの経験をもとに臨機応変に受け取る姿は立派でした。



在校生は不在のため、これまでに担任をした教諭から、担任をしたときの学年の思い出を話しました。



椅子に斜めに座って、話をされる人に体を向け、真剣な顔で話を聞きました。



お別れの言葉、卒業生の歌等も、歩みを振り返りながら自分の言葉で伝えました。途中、担任の言葉に、我慢していた涙があふれる場面もありました。

退場では、一人一人が先生方からカーネーションを受け取りました。

